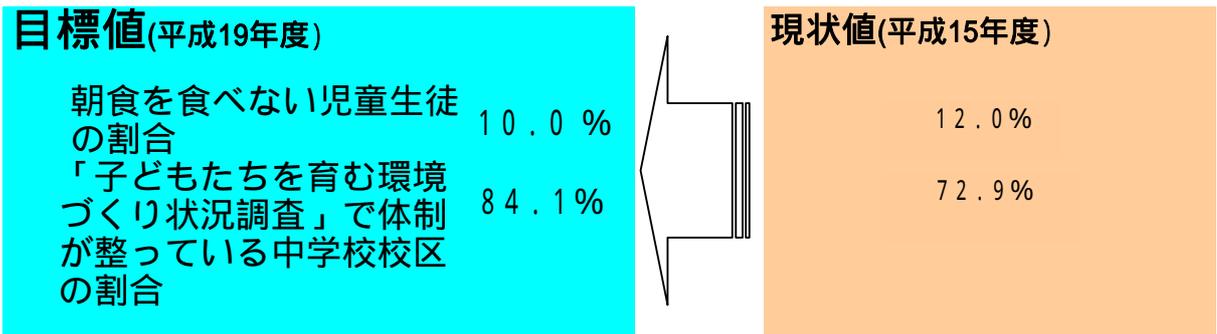


施策 (- 2 - 2) 学校との連携による家庭・地域の教育力の充実

目的

家庭、地域が学校と相互協力しながら、家庭では子どもたちの心身の健康を育み、善悪の判断など規範意識を身に付けさせ、地域では、社会体験活動、大人などとの交流の場の提供などをとおして子どもたちのより豊かな人間性を育みます。

成果指標と目標値



毎日朝食を食べることは学習活動に良い影響を与える事が指摘されています。朝食の摂取や睡眠時間の取り方など基本的な生活習慣を身につけさせることは家庭の役割です。現状値は「児童生徒の体力運動能力調査」で朝食を「時々とる」、「ほとんどとらない」と答えた児童生徒の割合です。

「子どもたちを育む環境づくり状況調査」は地域で子どもを育む体制状況調べです。現状値は調査項目10項目中7項目以上が整っていると市町村が回答した中学校校区の割合です。

現状と課題

少子化、核家族化が進行し、家庭において「過保護、過干渉」の傾向が見られる一方で放任などの状況も見られます。こうしたことから子どもの自立心が育たない、基本的な生活習慣が十分に身に付いていないなどの問題が生じています。

また、地域での異年齢集団での遊び、大人との交流の機会が減少したことも加わり、子どもの社会性や規範意識を育みにくくなっています。

今日の子どもたちの教育に関わる様々な課題に取り組んでいくためには、学校、家庭、地域が連携して、情報の共有化、家庭教育などについて学ぶ場づくりなどを進めることが必要です。

また、家庭は子どもたちの心身の健康を育み、PTA活動、公民館活動などを通じて、地域は子どもたちにふるさとの良さを実感させ多様な体験の機会を提供していくことなど、それぞれの取り組みを行い役割を果たしていくことが求められます。

目的を達成するための主な基本事務事

主な事務事業

事業名	概要
<p>子どもたちをはぐくむ 地域教育力の向上事業</p> <p>〔担当課〕生涯学習課</p> <p>【実施主体】 県 市町村 民間 県民 国等</p>	<p>地域教育コーディネーターの派遣や自然体験活動などの支援などにより地域で子どもたちを育む体制づくりを行います。</p> <p>地域教育力市町村支援事業</p> <p>P T A 指導者研修等により、地域指導者等の資質向上を図ります。</p> <p>地域教育力向上のための指導者養成事業</p>
<p>子どもたちをはぐくむ 家庭教育力の向上事業</p> <p>〔担当課〕生涯学習課</p> <p>【実施主体】 県 市町村 民間 県民 国等</p>	<p>実際に児童生徒の教育で悩む親へ電話相談等相談体制を充実します。</p> <p>子育て推進体制整備事業</p> <p>親子が触れ合える体験活動、父親の家庭教育参加の学習会などにより、家庭教育への関心を深めます。</p> <p>学習・体験活動への参加促進事業</p> <p>家庭教育情報の提供を行うなど家庭教育力の向上を図ります。</p> <p>家庭教育力向上のための普及・啓発事業</p>
<p>子どもたちの学校内外を通じた 奉仕活動・体験活動推進事業</p> <p>〔担当課〕生涯学習課</p> <p>【実施主体】 県 市町村 民間 県民 国等</p>	<p>青少年がボランティア活動をはじめ様々な体験活動を行う市町村の取り組みを支援します。また、コーディネーターとしての知識、理解と基本的な技術を習得するための研修を実施します。</p> <p>子どもたちの学校内外を通じた奉仕活動・体験活動推進事業</p>

学校、家庭、地域の役割と連携

背景

社会の変化
 ・核家族化、少子化、児童生徒の減少
 ・人間関係の希薄化

子どもの現状

・規範意識の低下
 ・基本的な生活習慣が身に付いていない
 ・自然、生活体験の不足

教育制度の改革

・完全週5日制
 ・新学習指導要領の実施

次世代を担う子どもの育成

